

ゆに住まいNavi

Vol. 1

2018年4月1日 発行

✓ 平成29年度実績報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日まで)

29年4月から由仁町移住交流支援センターが立ち上がり、移住に関する相談をワンストップで対応しています。

センターでは、移住や住宅情報バンクへの登録などに関する相談窓口業務の他、WEBサイト「ゆに住まいNavi」で空き家・空き地の情報を配信し、所有者と利用希望者の連絡調整を行っています。

また、移住に伴う就業相談に備え、町内の企業や観光施設などと求人情報の共有や職場見学等の受入れについて連携したり、農家や起業者と移住希望者が交流できる場を提供しています。

TOPIX

- ◆ 平成29年度実績報告
- ◆ 住宅情報バンク登録制度
- ◆ ゆに住まいNavi

○移住相談件数

電話	18
メール	8
来訪	25
合計	51

○住宅情報バンク登録件数

空き家(新規)	5
空き家(再登録)	1
空き地(新規)	24
空き地(再登録)	1
合計	31

○住宅情報バンク成約件数

空き家(売買)	6
空き家(賃貸)	1
空き地	2
合計	9

○移住者数

世帯数	1
人数	2

○空き家登録案内を配布した軒数

物件数	37
-----	----

20代から40代の単身、家族世帯の相談者が増加傾向にあり、あらかじめ由仁町に候補地を限定している場合も少なくありませんでした。

若い世代の相談者の多くは住居として賃貸の戸建て物件を希望していますが、現状では住宅情報バンクの登録件数が少ない上に売却物件しかなく、マッチングできずに保留になるケースが目立ちました。今後、戸建ての賃貸物件をご登録いただくことでニーズに対応でき、若い世代の移住者が増えていくと思います。

少しずつではありますが当センターの存在が認知されてきており、観光を兼ねて移住の相談に立ち寄っていただく方が増えています。

住宅情報バンク登録制度のご案内

空いてしまった家を誰かに喜ばれる家にしませんか？

建物の維持・家賃収入

空いているだけでは老朽化も進み、何も生み出しません。
貸し出すことで家屋を管理してもらいながら、家賃収入のメリットもあります。

空き家を有効活用することで…

地域の活力向上

空き家が増えると防犯・防災上に問題が起きたり、町の景観が損なわれる恐れもあります。
新しい人が移り住むことで町の活性化にもつながります。



売りたい・貸したい

大切にしてきたけど空いてしまったお家を、住みたい人にご紹介します。お気軽にご相談ください。

登録の流れ

- ①物件の登録申込：所定の書類に物件についての情報を記載して当センターに提出。
- ②物件確認：由仁町役場で物件を確認。
- ③物件登録：利活用に問題がなければ正式に登録。「ゆに住まいNavi」や全国版空き家バンクなどで公開。

登録は簡単!!

「ゆに住まいNavi」で情報配信

■住宅情報サイト「ゆに住まいNavi」

由仁町では、「由仁町住宅情報バンク」に登録された物件や、民間賃貸住宅に関する情報を「ゆに住まいNavi」で公開しています。

<http://yuni-sumai.com>

由仁 住まい

検索



ホームページ

QRコードからも
ご覧いただけます。

← →



Facebookページ

由仁町移住交流支援センター

様々なご要望に応じて由仁町への移住・定住・交流をお手伝いしています。

由仁町中央202 TEL・FAX 0123-83-3755

E-mail info@yuni-sumai.com

運営時間: 9:00~17:00 毎週月・火曜日定休



センター立ち上がりから一年が経過し、運営もかなり安定してきたように思います。

思えば、何も無い農村勤労福祉センターの一室に、パソコンやプリンター、書類を持ち込み、ゼロの状態から2人体制で移住相談や空き家・空き地の登録相談に備えてきました。徐々に馴染んできた頃から引継ぎ内容を整理したり対応に工夫を凝らし、様々なケースから多くのことを学びながらようやく自分たちのスタイルが整ってきました。

少しづつセンターの存在も認知され、センターに相談に来られる方も増えてきました。昨年経験したことを活かしながら、これまで以上に人に頼られ、人が集う場所“にしたい”と思っています。

(橋本)

編集後記